

最上川 24

ごあいさつ



今年度より、東北工業大学後援会山形県支部の支部長を仰せつかりました三澤と申します。よろしくお願いいたします。早いもので長男は都市マネジメント学科を卒業し、社会人 4 年目になり、現在は仙台の建設会社に勤務しております。

さて、山形県支部の活動としましては、例年山形市内で開催される支部総会および父母懇談会のほか、同懇談会に出席出来なかった方向けの地区別父母懇談会、キャンパス見学会を行っており、本会報「最上川」を年 1 回発行しております。そして、それぞれの企画・行事の実施に向けた準備、支援、当日の運営等は、本部の協力を得ながら、支部幹事会が中心となって行っております。

今年度は、台風 19 号の影響で後援会主催のキャンパス見学会は中止となりましたが、11 月に新たに東北工業大学同窓会の山形県支部が設立されました。私も山形県内の東北工業大学同窓生の方々と顔を合わせることができ、今後の支部同士の連携等を通じた更なる支部活動の充実が期待されるところであります。

山形県支部幹事は、今年度当初 7 名でスタートしましたが、4 月に前支部長を含む 3 名より年齢等の理由で退会の申し出があったため、残り 4 名で支部活動を開始しました。ようやく 11 月に新幹事 1 名の追加を得て現在 5 名となり、内 3 名が現役生の父兄、残り 2 名が私も含め卒業生の父兄という状況です。この人数は、東北他県の支部と比較して最も少ない人員であり、本県支部が現在抱えている最も大きな課題です。

私から御父兄の皆様には 3 つのお願いがございます。

まず 1 つ目は、御子息、御息女の大学生活に関心をお持ちいただき、積極的に県支部活動に参加していただきたいことです。特に父母懇談会は、大学の先生から直接、御子女の大学での生活、成績、進路に関して相談できる絶好の機会ですので、是非ともご出席くださいますようお願いいたします。

2 つ目は、工大 STAC（学生指導支援）システムの活用をお願いします。パソコン等の Web ブラウザで「東北工業大学ホームページ」から「ポータルサイト」を開き、「保証人入口」からログインしますと、学生の履修・成績、授業への出席状況を把握することができます。大学事務局で作成した操作マニュアルを本会報と一緒に送りますので、ご覧ください。

（必要となる個別の ID・パスワードは、以前に大学側から送付されているはずですが、忘れた方は教務学生課にお問い合わせください。）

最後の 3 つ目は、ぜひ現役学生のご父兄である皆様より支部幹事になっていただき、より現役父兄の目線で支部活動を盛り上げて頂きたいという心からのお願いです。

皆様のご理解、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 寄稿 「最上川」に寄せて



後援会山形県支部の皆様、はじめまして。情報サービスセンター事務室で技術職員として勤務しております平と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は山形市の出身で、高校まで山形で過ごし、東北工業大学に進学してから現在まで仙台で暮らしております。大学卒業後は同大学院に進学し、博士前期課程を修了後、本学の採用試験を受けて、情報処理専門の職員として入職しました。

山形から仙台に移り住んで早十年が経ちましたが、現在住んでいる所から山形市までは、車で1時間もあれば着いてしまうものですから、遠いようで近い距離感を感じています。とはいえ、仙台に来た当初、距離以上のものを感じたのが、芋煮に使われる「マルジュウ醤油」が売っていない事でした。最近になってようやく近所のスーパーでも陳列されるようになりましたが、当時は全く見当たらず、泣く泣く別の醤油を使っていたのが懐かしく思えます。「マルジュウ醤油」といえば、馬見ヶ崎川で行われる、日本一の芋煮会の公式醤油としても馴染みです。私が高校生の頃、偶然にも配膳スタッフとして3年間携わらせて頂いた事がありました。ショベルカーがすくい上げる芋煮汁を小鍋に移し替える際、高温の汁が飛び散る場面は恐怖でもあり、また「こんなにも芋煮が食べられる！」という至福にも似た感情が湧き上がってきたものです。

そんな山形での四季折々の思い出を胸に、現在は本学の「情報サービスセンター」で働いております。ごく簡単に申しますと、大学の中で稼働している「ICT システム」を支える仕事をしております。学生さんと直接やりとりするよりは、裏方に近い仕事をしております。

現在の ICT システムは様々な所に使われており、もはや水道と同じく「動いているのが当たり前」の状況です。ひとたび障害が起これば、業務の停止や損害などに繋がる、非常に重要なものとなっております。こういった「動いているのが当たり前」の環境も、裏側を見れば、様々な人々が注力した結果であり、まさに「縁の下の力持ち達」がいるからこそ成り立っているものと言えます。

本学の学生さんには、目に見えるモノだけではなく、その裏側にある「縁の下の力持ち達」等、視野を広く見ていただき、在学期間を通して、自分にとって最良の目的地が見つかるよう切に願っております。私は今後も「縁の下」の立場から、学生の皆様の快適な ICT システム利用を支援させていただきたいと思っております。また、もし山形出身の学生さんで、何か本学の ICT システムのことでわからないことがあれば、いつでも事務室の私あてにお問い合わせいただければ、もれなく山形弁で対応させていただきます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

情報サービスセンター事務室・技術職員 平 宏幸（山形市出身）

■ 令和元(2019)年度 東北工業大学後援会山形県支部役員 (令和2年2月1日現在)

- ◎支 部 長：三澤 桂一（山形市）
- 事務局長：斎藤 俊之（山形市）
- 幹 事：加藤 元康（川西町）、斎藤 雅博（舟形町）、佐々木 健一（山形市）

■ 令和2(2020)年度 後援会山形県支部総会・父母懇談会 開催日程

1. 期 日：令和2(2020)年6月6日（土）
2. 場 所：山形テルサ 3階アプローチ（山形市双葉町1-2-3）
3. 内 容：①山形県支部総会 ②大学挨拶 ③講演 ④個別面談（予定）
4. その他：詳しくは4月下旬発行予定の「後援会だより」をご覧ください。

※多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■地区幹事から ～川西町のご紹介～

川西町は、昭和30年に誕生した町で、最上川の西側に位置することから、「川西町」と名付けられました。本町は、その豊かな自然を利用した農業が盛んで、県内では庄内平野に次ぐ「米どころ」として知られています。また、「ダリヤ」を町の花と位置付け、心豊かな花の町を目指して地域づくりを展開しています。そして、そのシンボルとして「川西ダリヤ園」を整備し、650種10万本のダリヤを咲かせ続けています。



ダリヤ園内風景



650種10万本のダリヤ

川西ダリヤ園は平成27年に川西町誕生60周年記念国際ダリヤサミットにおいて国際ダリヤ園宣言を行い、ダリヤの聖地として、ダリヤの魅力を発信しています。開園期間中は、様々なイベントを行い、県内外から多くのお客様にご来園いただいております。



毎年8月上旬から11月上旬まで開園



品種毎に名前が付いています。ユニークな名前有り

ダリヤ園に隣接し、日帰り入浴はもちろん宿泊もできる温泉施設「浴浴センターまどか」は、食塩泉の温泉や、地元食材を使用したレストランメニューがお勧めで、旅行にビジネスにと幅広くお使いいただけます。レストランでは、シェフが腕をかけてつくる米沢牛すねカレーを始め、ボリューム満点の料理で皆様をお迎えします。

また、本町には、情報発信基地を自負する「フレンドリープラザ」があり、本町出身の作家・劇作家、井上ひさし氏から寄贈された膨大な蔵書からなる「遅筆堂文庫」をはじめ、本格的演劇公演のための劇場がある施設です。町民が学び、楽しみ、ふれあう場はもとより、町外、県外の来訪者を多く迎え入れ地域間交流の拠点ともなっています。私が大好きなこの町に一度お越しいただき、自然・食・文化にご堪能されてはいかがでしょうか。癒やされますよ～。お待ちしております。

■令和元(2019)年度 山形県支部活動報告

- ◆ 4月20日(土) 第1回支部幹事会 (2018年度活動報告・2018年度会計報告・2019年度活動計画案・支部総会及び父母懇談会について)
- ◆ 6月1日(土) 第27回支部総会・父母懇談会
 - ◇会場：山形テルサ 参加者：63家庭79名(内2家庭は仙台から参加)
 - ◇内容：総会・昼食懇談・講演会・ご父母と教員による個別面談
- ◆ 8月4日(日) 第2回支部幹事会 (父母懇談会実施報告・大学見学会、地区別懇談会について)
- ◆ 10月12日(土) 大学見学会【台風19号の影響により中止】
 - ※25家族61名より参加申込あり
- ◆ 11月16日(土) 地区別懇談会 (R1年度は最上地区で開催)
 - ◇会場：舟形町生涯学習センター 参加者：4家庭4名
 - ◇内容：大学近況報告・ご父母同士の懇談と情報交換・個別面談
- ◆ 11月16日(土) 第3回支部幹事会 (理事会報告・支部活動状況報告・次年度活動計画)
- ◆ 2月20日(木) 山形県支部会報『最上川24号』発行

■ニュース&トピックス

本学八木山キャンパス5号館1階にあった「旧女子学生ラウンジ」を改修し、新たに学生がくつろげる空間として「daberiba (ダベリバ)」を設けました。改修にあたっては、地元の建築会社ならびに建築設計事務所のご協力のもと、本学建築学科の学生たちが設計やデザインに関りました。

この他、4号館B1階には、女子学生から要望の多かった「女子専用チェンジングルーム」(更衣室)を設置しました。



daberiba (ダベリバ)



女子専用チェンジングルーム



◆本学が、週刊東洋経済「本当に強い理系大学」(2019年11月30日発行)の「理系学部 実就職率ランキング」理・工系部門で全国1位(実就職率99.0%)にランクインしました。(卒業生が100人以上で実就職率80%以上の学部が対象)

◆AERA MOOK『就職力で選ぶ大学2020』(朝日新聞出版、2019年8月15日発行)の記事「2019 実就職率ランキング」では、全体実就職率で3位(卒業生数300人以上1000人未満)、学部別ランキングでも同じく3位(理・工・理工学部)にランキングされました。